

Dairy One(米国)への外注発送業務再開に関するご案内

全酪連 分析センター
(公印省略)

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。また、日頃より当センターをご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、当センターでは、米国デミニミス制度(少額輸入免税制度)の停止に伴う通関手続きの複雑化により、発送済みサンプルの米国税関での長期滞留が多発していたため、一時的に「Dairy One(米国)」への外注発送業務を停止しておりました。現在も依然として現地配送が不安定な状況でございます。

しかしながら、多くのお客様より分析再開のご要望をいただいている背景を鑑み、この度、一定の条件付きではございますが、下記の通り業務を再開することといたしました。

つきましては、諸事情をご賢察いただき、何卒ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。なお、国際情勢の急変等により、予告なく外注発送業務を中断する場合がございますので、予めご了承ください。

敬具

記

1. 外注受付業務の再開時期

令和 8 年 5 月 11 日 受付分より

2. お引き受けの条件

本業務の再開にあたり、下記 2 点の条件を付帯させていただきます。あらかじめご了承くださいの上、ご依頼くださいますようお願い申し上げます。

① 配送事故発生時の対応について

発送サンプルの長期滞留、および税関判断による破棄等のリスクがあります。

- サンプルが破棄された場合：再発送を希望される際は、別途再発送費用を申し受けます。
- 分析をキャンセルされる場合：再発送を行わない場合でも、それまでに発生した送料、通関手数料、および外注分析発送事務手数料を請求させていただきます。

② お引き受け可能な分析項目について

ご依頼の分析項目に、下記のいずれかが含まれる場合に限りお引き受けいたします。

分析コード	分析項目
32	Rumen Degradable Protein (RDP)
575, 579, 585, 586	NDFDom Analysis

3. 分析料金および諸費用について

従来の「Dairy One 分析費用」「送料」「当センター所定の外部分析発送事務手数料」に加え、新たに通関に伴う関税および通関手数料を加算させていただきます。

以上